

普及活動情勢報告

(各月の普及の動き毎月 25 日までに報告)

普及活動情勢報告 (平成 26 年 2 月分)

中央東農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

香南市学校給食の地産地消率向上に向けて



熱心に話を聞く参加者

1 月 27、28 日、学校給食向け食材の生産拡大に向けた説明会を開催し、20 名が参加しました。

農業改良普及課では、「子ども達の健康な未来を作る給食用野菜生産」と題して、緑肥による土づくり、太陽熱処理による除草、品目に適した作型を紹介しました。

参加者から「緑肥を試したい。ニンジン栽培したい」「高齢者がグループを作って栽培したい。」といった意見も聞かれ、栽培可能な品目から始めて行く足がかりが出来ました。

老爺柿の収量、品質の向上に向けて



剪定方法を学ぶ参加者

2 月 12 日、J A 土佐香美香北支所花き部会が老爺柿の剪定講習会を開催し、4 名が参加しました。

講習会では、参加者が部長の指導のもと、実際に剪定を行いました。

農業改良普及課からは、時期ごとの剪定の重要性と剪定方法について情報提供しました。

参加者からは「除く枝や枝の姿の作り方が良く分かった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も老爺柿等花木の生産拡大に向けた産地育成を支援していきます。

日本一のシシトウ産地の維持発展を目指して



市場担当者の話を聞く参加者

2 月 13 日、南国地区 3 J A シシトウ部会役員と関係機関で構成する実行委員会主催の第 6 回南国地区シシトウ生産者大会が開催され、73 名が参加しました。

本会では、市場担当者と生産者の意見交換や環境制御技術について研修が行われました。

農業改良普及課では、会の企画立案や運営について指導するとともに、事務局として支援しました。

市場担当者からは価格設定や販売方法などの具体的な話があり、参加者から有意義だったとの声が多く聞かれました。

農業改良普及課は、今後も 3 J A の連携した取り組みを支援し、生産・販売両面からの産地力強化に取り組めます。

J A土佐香美の青ネギ、生産拡大を目指して！



生産者による事例発表

2月17日、J A土佐香美洋菜部会で青ネギ生産拡大大会を開催し、55名が参加しました。

本会では、篤農家の肥培管理や病虫害防除のポイントについて、実際の作業風景を写した動画を用いて事例発表が行われました。

農業改良普及課では、事例発表の資料映像を使用し、春先に発生する葉の黄化に対して、適期の施肥による対策を指導しました。

参加者からは、「他の生産者のやり方を知ることができ、参考になった」との声がありました。

農業改良普及課は、今後、現地検討会などを開催し、青ネギの安定生産に向けて支援していきます。

香北町の直販所を核にした学校給食用野菜の生産拡大



熱心に話を聞く参加者

2月19日、学校給食向け食材の生産拡大に向けた講習会を開催し、80名が参加しました。

大宮小学校からは「可能な限り手づくりし、子供達の笑顔を増やしたい」と、学校給食の状況が紹介され、直販所からは「皆さんの野菜が給食に使われるよう、生産を拡大しましょう」と、出荷調整時の注意点が紹介されました。

農業改良普及課では、学校給食用野菜の栽培講習と、高齢者でも生産が可能な仕組みづくりを紹介しました。

農家が子供達を支え、その中心に直販所が存在するという意識を共有することができました。